

# 川上ダム通信

2013  
11  
月号



Vol. 98  
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somuf@lily.ocn.ne.jp>



## 青山小学校4年生による「水の調査隊」を実施!

川上ダムでは、建設現場やダム周辺の水辺環境を実際に目で見て体験して頂くことを通じて、水、ダム及び水源地周辺の環境に対する理解をより深めて頂くための取り組みとして「水の調査隊」を実施しています。この取り組みは、平成20年度から実施しており、今年で6年目を迎えます。

今回は、10月8日(火)に青山小学校4年生の児童74名を「水の調査隊」として迎え、水の大切さやダムの役割、オオサンショウウオの学習と観察を行ってもらいました。

ダムの役割などの説明を受けた児童からは「ダムの高さは人に例えるとどのくらいですか。」などの質問がだされました。また、目の前に生後約10年、体長約60cmの国の特別天然記念物オオサンショウウオが水槽で持ち込まれると、<sup>\*</sup>「何種類いるんですか。」「どこに住んでいるんですか。」など、たくさんの質問がだされ、地元の川に生きる貴重なオオサンショウウオに大変興味を示していました。

その後、児童は川上ダムの建設予定地に移動し、全長276.5mの仮排水路トンネルやダムサイト予定地を見学しました。



職員の説明を熱心に聞く児童



仮排水路トンネルでの説明

仮排水路トンネルでは、暗闇の中を懐中電灯の灯りを頼りに歩き、大きな声を出して、トンネル内に響き渡る自分の声を楽しんでいました。

子どもたちにわかりやすく説明することは大変難しいのですが、工夫を凝らして、出来るだけ興味をもってもらえるよう準備をし、今後も「水の調査隊」を通じ、これからの地域を担う子どもたちに対し、ダムの役割や水源地周辺の環境について、身近に学べる機会を提供していきたいと考えています。

※オオサンショウウオの移動は、文化庁の許可を頂いたうえで行っています。

【総務課 菊地滋男】

# 「川上ダム通信」特別賞を受賞!

水資源機構では、10月7日(月)8日(火)に、建設交流館(大阪市)において、第16回関西ブロック技術研究発表会を開催しました。

この発表会は、職員が取り組んだ業務等の内容の報告を行うことにより、機構技術の向上、開発、蓄積を図ることと、情報発信の場を設けることによる職員の自己啓発を喚起することを目的として実施しています。また、機構の技術力や業務内容への理解を深めていただくために、関係機関の方にもご出席いただいています。



発表の様子

当建設所からは、①地域との交流を育む川上ダム通信、②川上ダムにおける植物の保全対策、③川上ダム横断橋工事経過報告の3つの論文を発表しました。

このうち、①は本誌を題材としたものであり、本誌の発行により地域の皆様との交流を深めるよう努めていることや、作成にあたって工夫していることなどを発表し、特別賞を受賞しました。

参加していただいた関係機関の皆様や関西管内の職員に、当建設所の取り組みを知っていただく良い機会となりました。

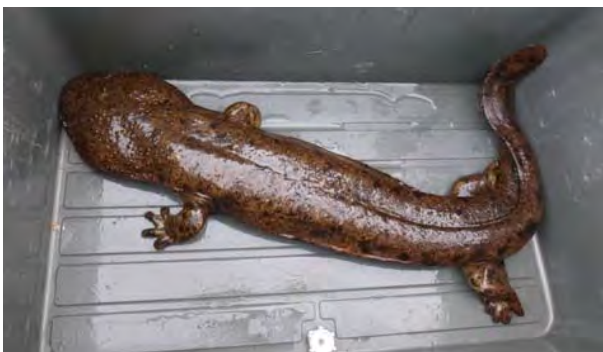
【総務課 湯本洋】

# オオサンショウウオを緊急保護

10月9日(水)の朝、「集水マスに動けなくなったオオサンショウウオがいる。」と、一般の方から伊賀市青山支所を通じて、川上ダム建設所へ連絡が入りました。

職員が現場に駆けつけると、体長約70cmのオオサンショウウオが、集水マスから抜け出せなくなっている状況でした。

早速保護し、近くの河川へ放流したところ、オオサンショウウオは元気に泳いで行きました。



救出された国の特別天然記念物

※オオサンショウウオは国の特別天然記念物ですので、一般には触ることは許されておりません。今回の救出は、緊急保護ということで伊賀市教育委員会担当職員の立会のもと行っております。



こんなところに・・・



もうはまるなよ!

【環境課 飯島芳則】

☆ 今月の環境用語集はお休みします。

# 想像以上に立派な「猫また大橋」だった

## 阿保東部区川上ダム対策委員会現場視察



猫また大橋を上流側から望む



橋梁上部の施工状況

10月12日（土）阿保東部区川上ダム対策委員会の皆様が川上ダムの現場視察を行いました。

事務所で川上ダム建設事業の概要説明の後、工事現場である付替県道青山美杉線の北野トンネルや貯水池横断橋（猫また大橋）工事の現場へ向かいました。

現地視察中、ダムの計画等に関する質問が相次ぎ、参加者の川上ダムへの関心の高さを感じるものでした。

また、<sup>そまかわ</sup> 杣川委員長は、進捗する工事現場の状況を見て「想像以上に立派な“猫また大橋”だった。」との感想を述べられるとともに「付替県道青山美杉線を早期に供用開始してほしい。」と話されました。



概要説明の様子



完成間近の猫また大橋をバックに

あわせて、「大雨でも災害が起きないようにする為にも川上ダムが必要。川上ダム本体工事の早期着工を。」とも話されました。

今しか見る事の出来ない工事現場がここにあります。次は皆様のその眼で。その耳で。川上ダム建設所がお待ちしております。

【第一用地課 本山和良】

# 「種生神社秋季例大祭」～山間に船が？～

みなさんは種生神社の秋祭りをご存じですか？

種生神社は、川上ダム建設予定地の上流に位置する伊賀市種生にある神社です。

毎年、「種生神社秋季例大祭」が開催されており、今年は10月27日（日）に開催されました。

本殿の神霊が御神輿<sup>おみこし</sup>の<sup>しんれい</sup>につ<sup>とぎよ</sup>ってお旅所に渡御する、いわゆる「わたり」の儀式はどの神社でも行っていますが、種生神社の「わたり」は「こたつき渡御」というもので、昔鹿島の神（種生神社の本来の祭神）が船で渡御した姿を移し伝えたものと言われています。

お祭りは、獅子神楽を先頭に、御神輿、こたつき、相撲旗、氏子の行列、だんじり、馬駆けの順で、約100m先のお旅所3往復を雄大に練り歩きました。特に、だんじりは、山間にも関わらず船型をしており、なんとも不思議な光景です。また、こたつきや馬駆けが行われるさまは、伊賀の珍祭と言われて、今年もたくさんの人々がこのお祭りを見物しに訪れていました。

来年は、みなさんもこの伊賀の珍祭を訪れてみてはいかがでしょうか。



お祭りの様子



船型のだんじり

※こたつき…2本の竹（15尺と10尺）を十字形に結び、白木綿<sup>しろもめん</sup>1匹（2反）を打掛けて帆の形にしたもの。

【第二用地課 高橋宏行】

## 10月の転出者と転入者のご紹介

転出者			転入者		
所属	氏名	転出先	所属	氏名	前所属
工事課	溝尾 邦男	丹生ダム建設所(滋賀)	工事課	金井 大輔	徳山ダム管理所(岐阜)

## イベントのお知らせ

### 桐ヶ丘フェスタ2013

開催日：11月9日（土）  
開催場所：桐ヶ丘3丁目駐車場（旧Aコープ駐車場周辺）  
お問い合わせ：桐ヶ丘フェスタ実行委員会  
TEL：0595-52-0204

### 第9回ふれあいフェスタ in 青山

開催日：11月10日（日）  
開催場所：伊賀市役所青山支所  
お問い合わせ：第9回ふれあいフェスタ in 青山実行委員会事務局  
TEL：0595-62-3811

お詫び：10月号の文章で誤りがありましたので訂正します。  
「台風18号襲来！岩倉峡で観測史上最高水位を記録！！」の12行目  
訂正前：8.53m  
訂正後：8.55m  
大変失礼しました。

### 【広報誌発行事務局】

編集長 神矢（所長）  
デスク 梅村（総務課長） 田中（工務課長）  
記者 湯本（総務課） 渡辺（総務課）  
本山（第一用地課） 高橋（第二用地課）  
遠本（調査設計課） 飯島（環境課）  
廣瀬（工事課） 日隈（工務課）